

		NPO法人 赤煉瓦倶楽部舞鶴 会報	
		発行人/理事長 馬場 英 男	
		(連絡先) 〒625-0062 京都府舞鶴市森 875-2	
		TEL/090-3281-7539 FAX/0773-63-9764	
		E-mail brick@iris.eonet.ne.jp	
特定非営利活動法人 赤煉瓦倶楽部舞鶴			
会報 102号 平成 29年 11月 1日			
「NPO法人赤煉瓦倶楽部舞鶴」ホームページ		http://www.redbrick.jp/	
フェイスブックページ		https://www.facebook.com/赤煉瓦倶楽部舞鶴-1575484726053495/?fref=ts	

目次

1 赤煉瓦ネットワーク敦賀大会	事務局	4 赤煉瓦倶楽部半田創立 20周年記念行事に招待されて	馬場英男
2 連載『我が国の近代土木遺産』	こいけりか	5 東日本大震災陸前高田市支援が問記	馬場英男
3 『謎のお雇い外国人ウォートルスを追って』	小野 章	6 その他	編集後記 事務局

1. 赤煉瓦ネットワーク敦賀大会 11月4日～5日開催	事務局
------------------------------------	------------

既にお知らせの通り、赤煉瓦ネットワーク敦賀大会が、本年11月4日(土)、5日(日)に開催される。現時点での、当法人からの参加者は9名の予定である。

スケジュールは、一日目は、きらめきみなと館でオープニングセレモニー、その後、敦賀赤レンガ倉庫と旧北陸線トンネル群の見学会、北陸最大級の敦賀港イルミネーション・ミライエ 見学(金ヶ崎緑地)、交流会が予定されている。

二日目は、敦賀市立博物館(赤レンガ建造物 2016年改修)でシンポジウム、基調講演「敦賀の歴史と現状/外岡慎一郎」、ワークショップ「敦賀の魅力と未来」、意見発表が行われ閉会の予定。きらめきみなと館で昼食を摂り、午後1時解散の予定である。

この内容は、次号で報告します。

2. 連載「我が国の近代土木遺産」 ～ドボクイサン重箱の隅～	こいけりか(特別会員 NO. 87、(株)奄美群島環境文化総合研究所代表取締役)
---------------------------------------	---

産業遺産にハマりだした学生時代、色々な大規模構造物を見ては喜んでいただけ、恩師が言っていた「構造物を見るのに適した速度と距離は対象の大きさで変化する」という言葉を時々思い出す。例えば、商店街や歴史的な建物が並ぶ街並みは、自動車で通り過ぎてしまうとその土地らしい生活感に溢れた路地や建物の細部に凝らされた意匠をはじめとする町の面白さを形作る様々な要素を見つけることは難しい。人が歩く速度で目に入る細々とした物や風景がまちあるきでは、「見るべきもの」の1つであることは言うまでもない。

その一方、「乗り物」に乗ることで楽しむことができる構造物の面白さというものも存在する。数年前から仕事

の都合で飛行機や船に乗る機会が激増したこともあり、離着陸前後の機内から見える風景や甲板から見る港周辺の構造物がとても気になる。天候や時刻、その日の航路によって見えるものが変わるため、一期一会とでも言いたくなる構造物見物は、決まった風景を安定的に見ることができる電車の車窓からのものとは異なる興奮がある。

羽田空港の離発着時、第一、第二海堡等の東京湾要は今のところ見る事ができていないが、以前は気にしていなかった東京湾の構造物を見る機会には恵まれているようだ。



画像①東京ゲートブリッジの全景



画像②木更津浸透美験池跡



画像③川崎人工島換気塔

画像①の東京ゲートブリッジは、東京港臨海道路の大田区と江東区結び、東京航路を跨ぐ橋梁区間 2,618m のトラス橋梁だ。2匹の爬虫類が向かい合うような形状から「恐竜橋」と称する人もいる。海面からの高さが 87.8m あるため、地上から見上げるよりも航空機から見下ろすことでその特徴的な形状が楽しめるのではないだろうか？施工時は両側からトラスが建設され、土木系雑誌等に取り上げられていた。現在は、夜間のライトアップも行われ観光名所として親しまれている。

画像②の木更津浸透実験地跡は、「木更津フィッシュアイ」などと呼ぶマニアもいるようだが、千葉県内から東京湾に流入する小櫃川河口の砂質干潟の「盤州干潟」に残る施設の遺構だ。公的な記録や紹介記事は見当たらないが、製鉄会社が工場建設を計画し、60年代に運用を始めたものの工場は建設されず、広大な浸透実験地だけ

が遺構となって残っているようだ。航空機から実物を確認する以前、グーグルマップで池の存在を見つけた時は巨大な円筒分水があるのか？と驚いた。

画像③の構造物は、「風の塔」の愛称を持つ東京湾横断道路の換気施設だ。神奈川県(川崎市)と千葉県(木更津市)を海底トンネルと道路橋でつないでいる東京湾横断道路は、換気塔が海底トンネルの中央部分に位置している。トンネル施工時はシールドマシンの発信基地として使われ、現在はトンネル内の排気ダクトとトンネル内に外気を送る吸気用ダクトとして稼働している。

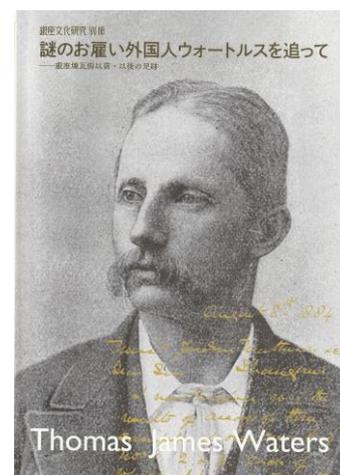
どの構造物も航空機の高度が構造物の全景を見るために最適であるが、通過速度が速いので見逃さない注意も必要だ。大規模な土木構造物が建設され、航空機に乗らなければ見られない風景である。

3. 『謎のお雇い外国人ウォートルスを追って』を発売

小野 章(会員 No. 9)

日本の近代建築の草分けといわれるトーマス・ウォートルスは幕末に来日し、薩摩藩支配下の奄美大島の砂糖精製工場、維新後は大阪造幣寮・泉布観、東京の竹橋陣営兵舎そして銀座煉瓦街の設計・建設に携わりましたが、1877年離日、上海で働いた後ニュージーランドで鉱山開発、その後米国コロラドで第2人と組んで鉱山開発、1898年に死去しデンバーの墓地に葬られました。

彼の生涯については謎の部分が多く、三枝進氏が長く研究しました。三枝氏は銀座に本店を置く明治2年創業の「ギンザのサエグサ」を経営する傍ら、「銀座文化史学会」会長として煉瓦街の設計者ウォートルスに関する資料を広く内外から収集しました。銀座煉瓦街完成から140年の本年、三枝氏の調査・研究を集成・加筆して発売したのが本書です。本書の取材で銀座文化史学会の皆さんが舞鶴の赤れんが博物館を訪問されました。価格2000円(税込み)A4版、136頁



購入は下記までご連絡を。申込あれば送料無料で振込用紙等入れて送付。

秦川堂書店 Tel03-3264-2780 fax03-3264-1020

Email shinsendo@forest.ocn.ne.jp

4. 「赤煉瓦倶楽部半田」創立20周年記念行事に招待されて

馬場英男(会員 No. 8)

さる9月9日、赤煉瓦ネットワーク運営委員を代表して、「赤煉瓦倶楽部半田」創立20周年記念行事に招待され祝辞を述べた。半田市市制80周年記念事業の一環とした記念講演会も同時に開催され、多くの会員・市民が参加していた。取り壊しの危機を乗り越え、半田市・市民グループが保存活用に一体となり取り組み、平成27年7月に「半田赤レンガ建物」がグランドオープンし、今では新たな観光・市民交流施設として大いに賑わっている。

この建物は、明治31(1898)年に妻木頼黄の実施設計により丸三麦酒の旧カプトビール工場として建てられ、戦時中は、軍用用の衣類や食糧倉庫、戦後はコーンスターチ工場となり、平成6(1994)年に工場が閉鎖され、一部が取り壊された。

筆者としては、この保存活用に少なからず関わりを持ったので、この状況には実に感慨深いものがある。

思い起こすと、工場が閉鎖されて間もなく、現舞鶴市立赤れんが博物館顧問の水野信太郎さん(当時・金沢学院大学助教授/現・北翔大学教授)から、旧カプトビールの建物が壊されるとの情報を受け、半田に住んでいる実弟に連絡したのが始まりであった。当時、半田ではこの建物の価値に気づいていた者は少なく、まして保存活用など思いも寄らなかった。最初の赤煉瓦ネットワークとしての関わりは、平成6年8月の見学会の開催と市民との交流会であった。翌年の平成7年11月には、中部地方の学識経験者やネットワークが主催しシンポジウムを開催、なんと市民約300人が集まった。

当年 9 月に市議会で工場跡地を買収する議案が価格面で否決された直後であり関心が高かったのである。各地の事例報告、建物の活用プランなど提案した。その後、市議会でも決されるまで紆余曲折があったようであるが、翌年、「可決された」と弟から弾んだ声で電話があったのを鮮明に覚えている。弟らは平成 9 年に保存団体を設立し、旧カプトビールのレシビを手に入れ、復刻ビールを販売するなど、建物活用を見据えた活動を継続して今日を迎えた。式典では、弟が赤煉瓦倶楽部半田の理事長として、これまでの経緯と関わった

多くの皆さんへの謝意を述べた後、来賓として、榊原純夫半田市長、中埜喜夫半田商工会議所副会頭、丸山 悟学校法人日本福祉大学理事長、馬場英男赤煉瓦ネットワーク運営委員、高木 浩(株) J R B プロモーション代表取締役社長の 5 名が祝辞を述べた。現在、カプトビールに関する常設展示、知多半島の名産品を販売するショップ、復刻した明治・大正の生カプトビールが飲めるカフェ、会議に利用するクラブハウス 4 室、企画展示室などに活用されている。



明治 31 年 10 月竣工。平成 16 年文部科学省 登録有形文化財。
平成 21 年経済産業省 近代化産業遺産。平成 27 年リニューアル



外構整備中

5. 東日本大震災 陸前高田市支援 訪問記

馬場英男(会員 NO. 8)

舞鶴市の陶芸サークル主催の東日本大震災支援活動は、震災翌年の平成 24 年 10 月から始まり、本年 6 回目を迎えた。毎年 10 月に陸前高田市を訪問しているが、本年は 10 月 12 日夜間に大型バスで出発し、現地に午前 10 時頃に到着、支援活動をおこない、定宿としている温泉旅館鈴木旅館で一泊して、翌日早朝に帰路につき、帰着は夜間遅くであった。

筆者は、5 回目の参加で、復興状況や支援活動の写真記録を主な任務と位置づけ参加、本年 5 月には、過去 5 回の報告写真展および報告会を開催した所である。

さて、主な支援活動の内容は、舞鶴市民からの支援していただいたお米約 1 トン(10kg 袋で 100 超)と、市内のみずなぎ学園で購入した黒豆パン、陶芸サークルや舞鶴市内の小学生が制作した植木鉢などの陶芸作品などを、現地の仮設住宅にお住いの皆様や小学校、保育所にお届けする他、震災遺児への支援金を市役所に届ける事などである。

更に、震災された商店を応援するため、事前に舞鶴市民から注文を受け、お酒、お菓子、ジュースなどの商品を購入し、空になったバスの荷台に積み込み、持ち帰る活動を継続している。この商品購入の平均額は約 160 万円と多額である。

このような活動は多分全国的にも稀ではなからうか。

この支援活動を主宰する陶芸家の高井晴美さんからは、本年を最後に団体としての活動は終了するとお聞きした。

陸前高田市で最も被害の大きかった高田地区では、ほぼ完成している防潮堤の建設と、約 10m の高台 7 か所を盛り土し整備、仮設の商店や住居を移転するほか、土地利用計画に沿った道路や区画整理など復興計画が進展している。

一部の完成した高台で商店の移転が始まっており、ようやく本年 5 月に大型のスーパー(abasse TAKATA)が完成し、周辺からのお客さんと賑わいを取り戻しつつあり復興を実感。また、これまで支援してきた商店も移転が完成して営業しているほか、年末に完成する予定の商店を見届ける事が出来た事などが、終える主な理由である。また、支援してきた仮設住宅の皆さんも近く全て移転予定で、小学校グラウンドに設置された仮設住宅の撤去も近づいている。

大震災後 7 年半が経過したが、街すべてが喪失した高田地区の復興にはまだ十数年を要するのではないかと、復興の難しさを感じるとともに、早期に完了するのを心から願ってやまない。



大型バスから支援のお米・パンを仮設住宅にお届け



現地被災商店の商品を買い、バスに積み込む



震災遺児への支援金を陸前高田市担当部長に



広田保育園の園児に植木鉢を届ける



仮設の陸前高田市市役所



完成間近の防朝鮮堤



高台盛り土工事整備中



高台に今春完成の商店街に大型スーパー
「abasse TAKATA」オープン



約10m盛り土の高台に商店が稼働中

6. その他 編集後記

事務局

編集後記

この会報を作成している22日、超大型台風21号の接近で、大雨・洪水・暴風警報が前広に発表され、雨・風が徐々に激しくなっている。小降りのうちにと、早々に衆議院選挙の投票を済ませた。今夜の選挙開票速報と台風臨時ニュースが入り混じるであろうし、また、プロボクシング村田諒太のタイトル奪取なるかも気になり、落ち着いた夜を迎える事になりそうだ。この台風の影響で、本日予定していた福井県境の「吉坂(きさか)保塁」の見学会も2日前には中止決定となり、再度、日程調整して挑むことになる。県境にある「吉坂保塁」は陸軍により明治35年11月に完成、福井県内浦湾・高浜湾に上陸し、舞鶴海軍鎮守府のある舞鶴に侵攻してくるロシア軍を迎撃するために設置、標高242mの本保塁には12センチチカノ

ン砲6門を据付けていた。高浜町が数年前から積極的に発掘調査を行い、福井県側から軽自動車程度なら通行可能な道路整備を進めているとの事で、楽しみにしていた。一方、同時期建設の舞鶴市の砲台群は、まだ調査が手つかずの状況で、今後調査が進み多くの皆さんが見学できるよう道路・見学表示板等の整備が望まれる。来週28日には、終戦間際に重要な役割を担ったとされる舞鶴市浜地区の東山防空指揮所跡の見学会がある。舞鶴市広報による人数限定の募集に間に合い、これまでなかなか見学出来ず熱望していただけにわくわくしている。その見学会の報告は、次号で行う予定である。(h. b)
(参考文献、サークル花粉航海発行「Every dey, from it」)

会 員 資 格： 会費納入者（特別会員は除く）。入会金1,000円、年会費（個人2,000円、法人10,000円）。
なお、会員申込用紙は、ホームページからダウンロードできます。ご寄附も受け付けます。
会費・寄付金等 振込先： ゆうちょ銀行 口座番号 (01010-6-21476) 加入者名： 赤煉瓦倶楽部舞鶴